

第 4 章 対象事業実施区域およびその周囲の概況

4 - 1 自然的状況

4 - 1 - 1 大気環境

1) 気象の状況

滋賀県の気候は、日本海型、瀬戸内型、東海型の気候区の影響を受けているが、事業実施予定地周辺は、琵琶湖の気温緩和作用を強く受け、比較的温暖で瀬戸内型気候区に近づいている。

事業予定地周辺の気象観測地点は、図 4-1-1 に示すとおり大津地域気象観測所と大気汚染常時監視測定局の一般環境大気測定局である草津局（以下「草津局」という。）がある。

大津地域気象観測所では降水量、気温、風向、風速、および日照時間を観測しており平成 14～23 年の観測結果を表 4-1-1 に示す。

平成 14～23 年の 10 年間の平均は、年間降水量 1,555mm、気温 15.3℃、風速 1.7m/s である。

表 4-1-1 大津地域気象観測所の観測結果

年	降水量(mm)		気温(℃)					風向・風速(m/s)			日照時間(h)	
	合計	日最大	最大	平均			最高	最低	平均	最大		
			1時間	日平均	日最高	日最低			風速	風速		風向
H14	1,060	49.0	37.0	15.1	19.4	11.1	36.1	-2.9	1.7	8.0	西北西	1,744.6
H15	1,950	154.0	47.0	14.6	18.9	10.8	35.3	-4.5	1.6	9.0	西	1,470.3
H16	1,743	110.0	76.0	15.6	20.5	11.3	35.4	-3.6	1.6	10.0	東南東	1,825.2
H17	1,170	66.0	64.0	14.8	19.3	10.8	34.5	-4.1	1.7	11.0	西	1,744.3
H18	1,790	73.0	43.0	14.6	19.1	10.8	35.9	-3.8	1.5	9.0	西	1,566.8
H19	1,349	115.0	41.0	15.2	19.9	11.0	36.6	-3.7	1.5	10.0	西	1,787.2
H20	1,540	129.0	39.0	15.2	19.9	11.2	36.9	-2.5	1.5	10.0	西北西	1,825.9
H21	1,422	65.0	32.5	15.5	20.2	11.4	35.6	-1.8	1.6	11.0	北	1,818.5
H22	1,812	95.5	43.0	16.9	21.5	12.9	37.5	-2.4	1.9	11.7	西	1,786.1
H23	1,719	126.5	47.5	15.3	19.9	11.4	36.9	-3.9	2.0	9.4	東南東	1,841.2
平均	1,555	98.3	47.0	15.3	19.9	11.3	36.1	-3.3	1.7	9.9	-	1,741.0

出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）



凡例

- : 事業予定地
- : 府県界 - - - : 市町界
- ▲ : 大津地域気象観測所
- : 大気汚染常時監視測定局 (草津局)

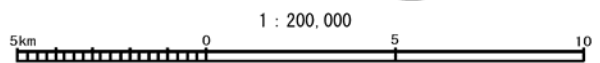
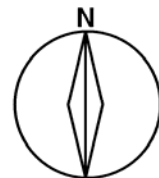


図 4-1-1 大津地域気象観測所および草津局の位置

大津地域気象観測所における平成14～23年および草津局における平成14～23年の月別平均風速値を表4-1-2、表4-1-3に示す。平均風速は、各年にばらつきがあるが、秋季に弱く、冬季に強くなる傾向がみられる。

大津地域気象観測所と草津局における風配図を図4-1-2、図4-1-3に示す。

大津地域気象観測所の風向は、年間を通じて南南東方向の風が卓越しているが、冬季においては西方向の風も頻度が高くなっている。一方、草津局の風向は、夏に東南東および南南西の風、冬に西の風が卓越しており、年間の風向は、ほぼ均等な分布となっている。

表 4-1-2 月別平均風速値（大津地域気象観測所）

(単位:m/s)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成14年	2.3	1.7	1.9	1.7	1.7	1.6	1.5	1.8	1.5	1.4	1.7	1.6
平成15年	1.9	1.6	1.8	1.6	1.9	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.8
平成16年	1.8	1.9	1.7	1.8	1.5	1.6	1.6	1.7	1.4	1.5	1.2	1.4
平成17年	1.9	2.1	1.9	1.7	1.7	1.6	1.5	1.3	1.5	1.3	1.4	2.5
平成18年	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.3	1.1	1.6	1.5	1.3	1.4	1.4
平成19年	1.6	1.8	1.7	1.6	1.8	1.5	1.3	1.5	1.5	1.3	1.3	1.4
平成20年	1.1	1.3	1.7	1.7	1.7	1.5	1.5	1.6	1.4	1.3	1.6	1.5
平成21年	1.7	1.8	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.5	1.6	1.4	1.4	1.7
平成22年	2.0	1.9	2.0	2.1	2.1	1.6	1.6	1.9	1.8	1.7	1.7	2.2
平成23年	2.4	1.8	2.2	1.8	1.9	1.7	1.9	1.8	2.2	1.8	1.7	2.3
平均	1.8	1.8	1.9	1.7	1.8	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.8

出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）

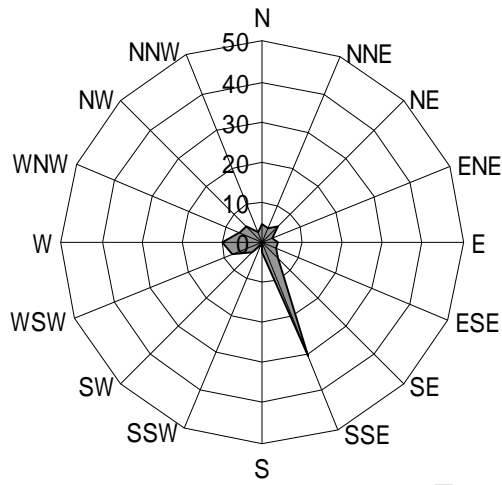
表 4-1-3 月別平均風速値（草津局）

(単位:m/s)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成14年	2.4	1.6	1.8	1.6	1.3	1.4	1.6	1.7	1.3	1.2	1.5	1.6
平成15年	2.0	1.3	1.5	1.4	1.6	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.1	1.7
平成16年	1.9	1.9	1.6	1.7	1.4	1.5	1.5	1.7	1.4	1.3	1.2	1.3
平成17年	1.8	1.8	1.8	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.4	1.2	1.2	2.7
平成18年	1.4	1.5	1.7	1.6	1.4	1.2	1.1	1.4	1.3	1.0	1.3	1.3
平成19年	1.4	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.1	1.5	1.3	1.0	1.1	1.5
平成20年	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.1	1.4	1.4	1.1	1.0	1.2	1.2
平成21年	1.5	1.3	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1	1.6
平成22年	1.7	1.3	1.5	1.5	1.3	1.2	1.2	1.4	1.2	1.1	1.1	1.8
平成23年	1.7	1.8	1.8	1.8	1.7	1.5	1.6	1.5	1.8	1.3	1.3	1.8
平均	1.7	1.6	1.6	1.6	1.4	1.3	1.3	1.4	1.3	1.1	1.2	1.7

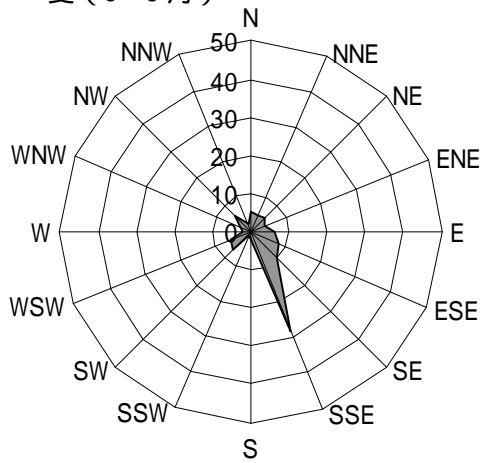
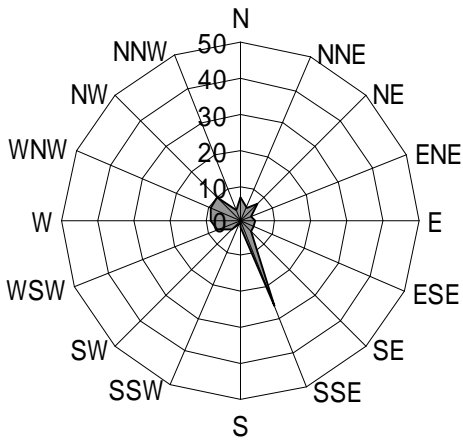
出典：「大気常時監視データ」（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

近年 10 年（大津地域気象観測所：平成 14～23 年）



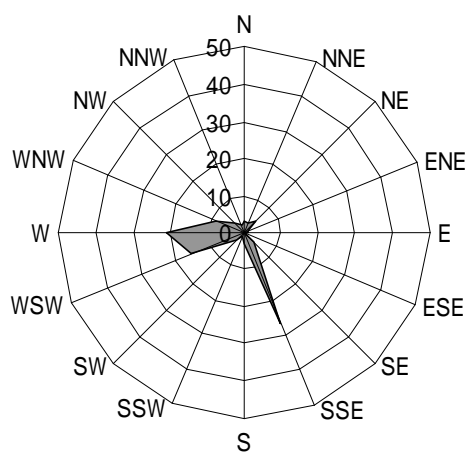
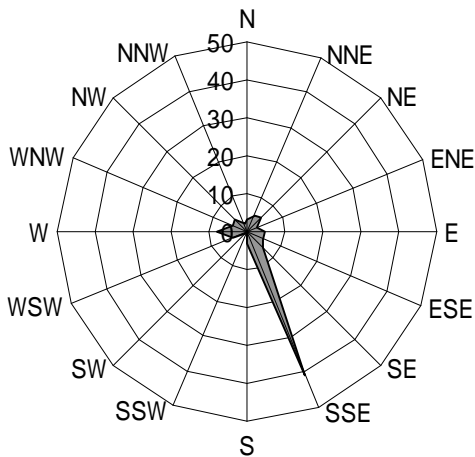
春（3～5月）

夏（6～8月）



秋（9～11月）

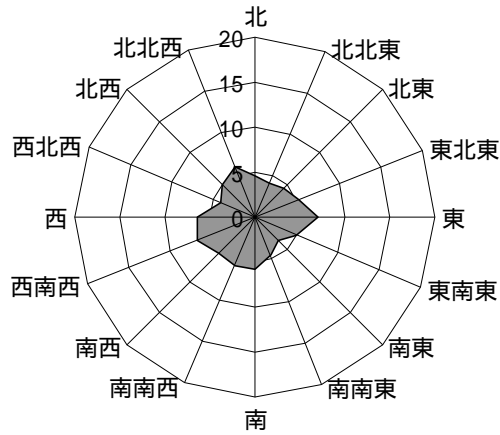
冬（12～2月）



出典：「気象統計情報」（気象庁ホームページ）

図 4-1-2 平成 14～23 年の風配図（大津地域気象観測所）

近年 10 年（草津局：平成 14～23 年）

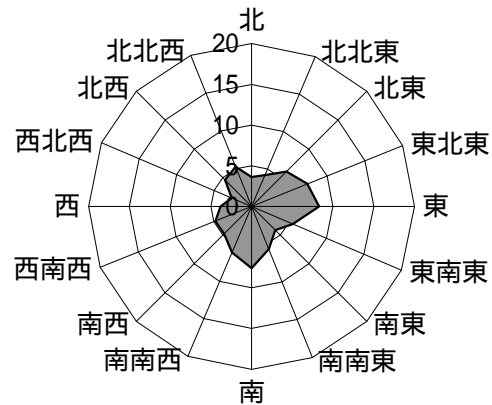
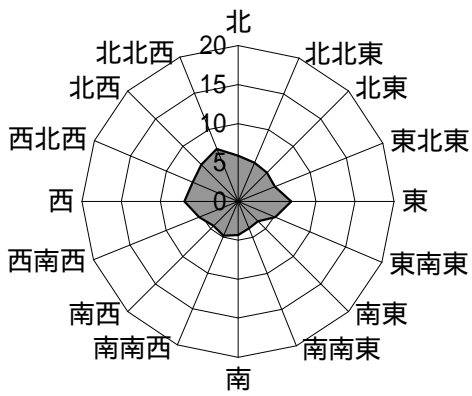


春（3～5月）

夏（6～8月）

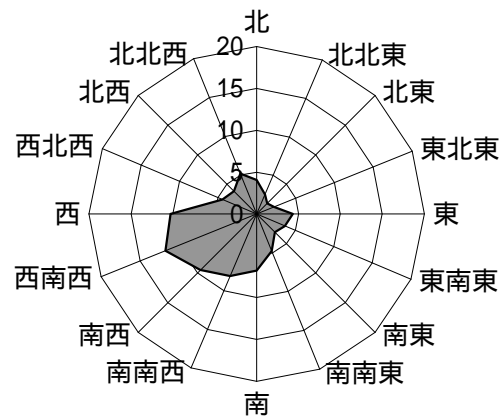
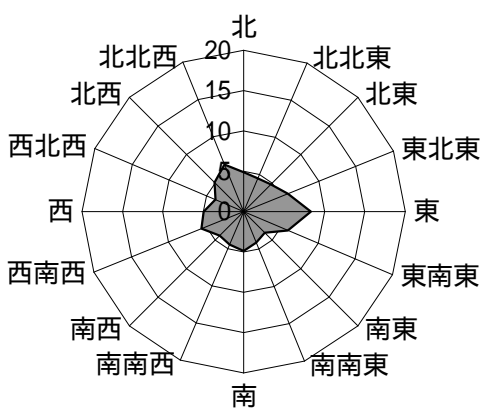
（単位：％）

（単位：％）



秋（9～11月）

冬（12～2月）



出典：「大気常時監視データ」（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

図 4-1-3 平成 14～23 年の風配図（草津局）

2) 大気質の状況

事業予定地周辺の大気汚染常時監視測定局等の位置を図 4-1-4 に示す。

一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が草津局、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が上田上局と自排草津局である。それぞれの測定局における測定項目等を表 4-1-4 に示す。なお、上田上局は大津市内に平成 20 年に開局された自排局である。

また、草津市の湖南農業高校敷地内で、ダイオキシン類の測定が実施されている。

表 4-1-4 大気測定局の測定状況

測定局名称		測定項目									
		二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	窒素酸化物	一酸化炭素	炭化水素	微小粒子状物質 (PM _{2.5})	ダイオキシン類	気象	
										風向	風速
草津市	草津局（一般局）	○	○	○	○				○	○	○
	自排草津局（自排局）	○	○	○	○	○	○	○		○	○
	湖南農業高校敷地内								○		
大津市	上田上局（自排局）		○		○	○				○	○

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年度版環境白書）」（滋賀県）
「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

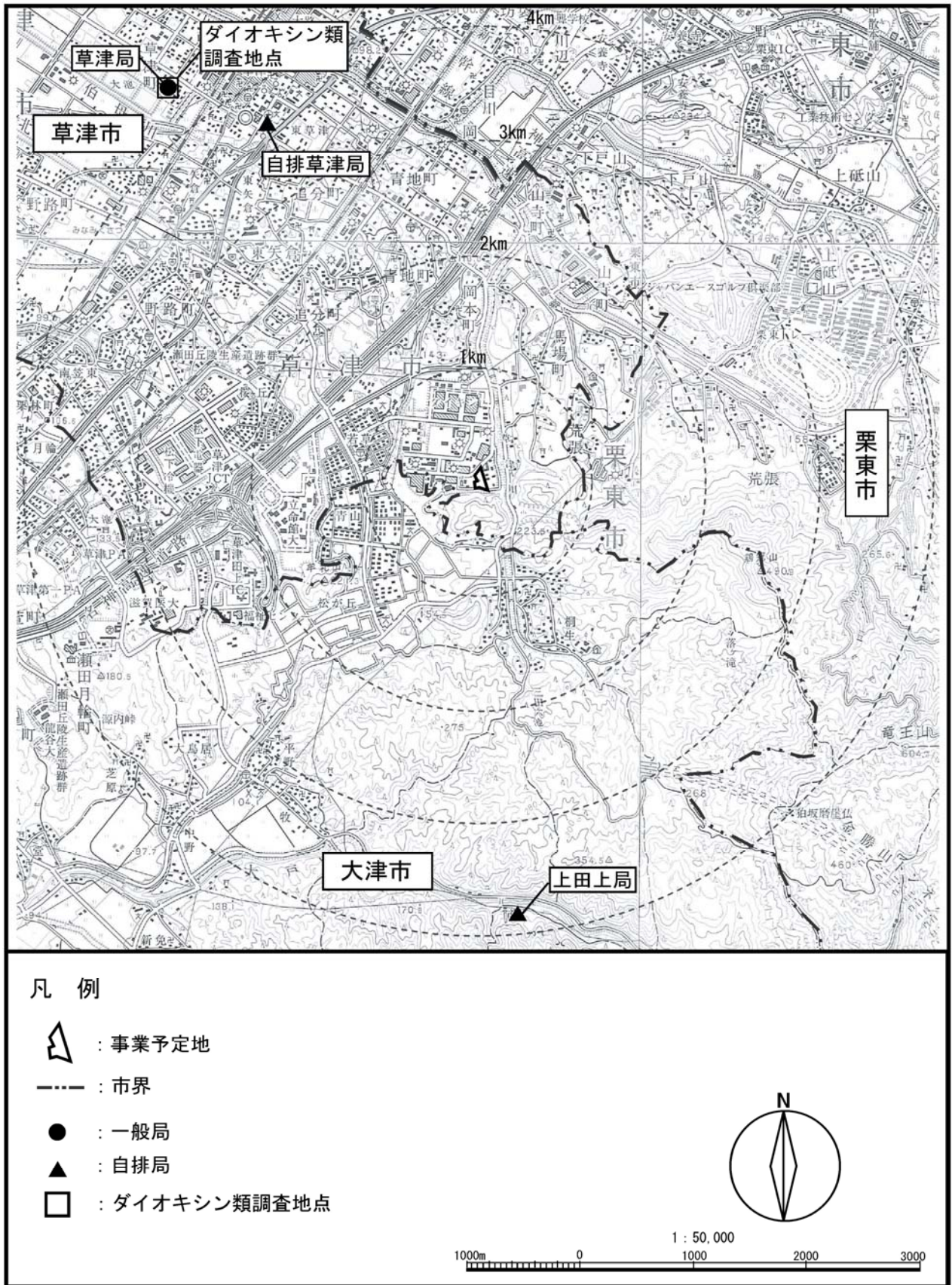


図 4-1-4 大気汚染常時監視測定局位置

(1) 二酸化硫黄

二酸化硫黄の年平均値の経年変化を表 4-1-5、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-6 に示す。

経年変化を見ると、各測定局とも近年は横ばい傾向で推移している。平成 23 年度の結果では、各測定局とも環境基準を満足している。

表 4-1-5 二酸化硫黄の経年変化（年平均値）

（単位：ppm）

測定局	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津局（一般局）		0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
自排草津局（自排局）		0.004	0.004	0.004	0.003	0.003

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

表 4-1-6 二酸化硫黄の年間測定結果（平成 23 年度）

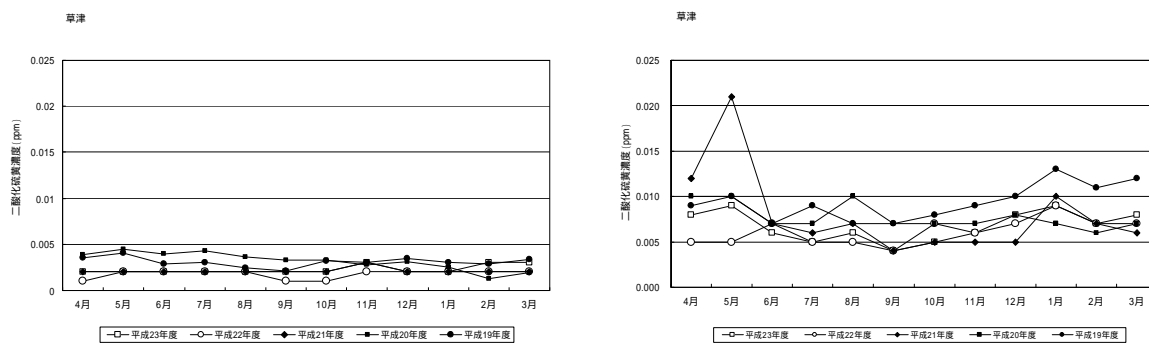
測定局	有効 測定 日数	測定 時間	年平 均値	1 時間値が 0.1ppm を超 えた時間数 とその割合		日平均値が 0.04ppm を 超えた日数 とその割合		1 時間 値の 最高値	日平均値 の 2%除外値	日平均値が 0.04ppm を 超えた日が 2 日以上 連続したこ との有無	環境基準の 長期的評価 による 日平均値 0.04ppm を 超えた日数
				時間	%	日	%				
草津局 （一般局）	364	8622	0.002	0	0.0	0	0.0	0.009	0.004	○	0
自排草津局 （自排局）	364	8626	0.003	0	0.0	0	0.0	0.012	0.005	○	0

環境基準：「短期的評価」1 時間の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

「長期的評価」1 年間全ての日数の 1 日の平均値を対象に評価し、日平均値の高い方から 2%を除外後の最高値（2%除外値）が 0.04ppm 以下であり、かつ、日平均値が 0.04ppm を超える日が 2 日以上連続しない場合を適合とする。

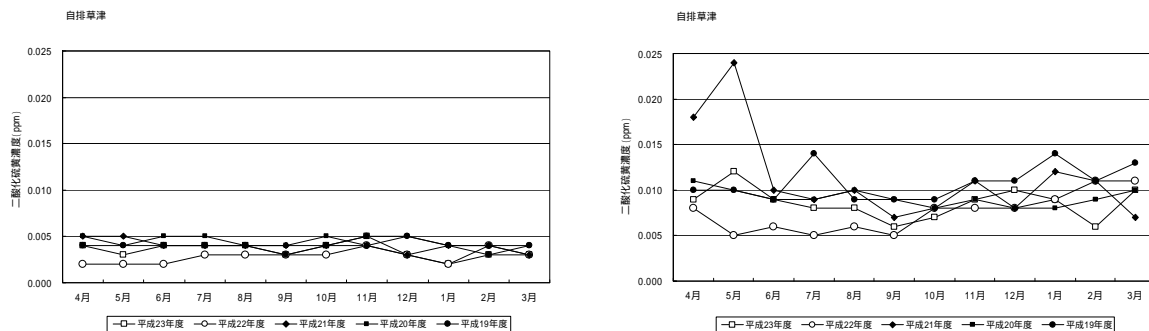
出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

また、月平均値等の変化を図 4-1-5、図 4-1-6 に示す。



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-5 二酸化硫黄の月別経年変化（草津局）



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-6 二酸化硫黄の月別経年変化（自排草津局）

(2) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化を表 4-1-7、平成 23 年度の測定結果表 4-1-8 に示す。

経年変化を見ると、各測定局とも近年は横ばいまたは減少傾向である。直近年度の結果は、草津局（一般局）および自排草津局（自排局）における環境基準の長期的評価による日平均値において、2 日間 0.10 mg/m³ を超えた。

表 4-1-7 浮遊粒子状物質の経年変化（年平均値）

(単位：mg/m³)

測定局 \ 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津局（一般局）	0.029	0.030	0.028	0.028	0.023
自排草津局（自排局）	0.031	0.026	0.021	0.024	0.024
上田上局（自排局）	-	0.023	0.021	0.022	0.021

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）
「常時監視測定局結果報告書 平成 24 年度」（大津市）

表 4-1-8 浮遊粒子状物質の年間測定結果（平成 23 年度）

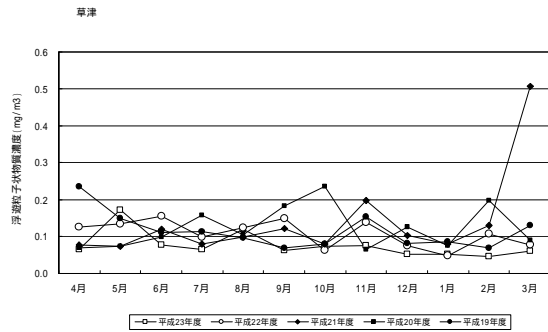
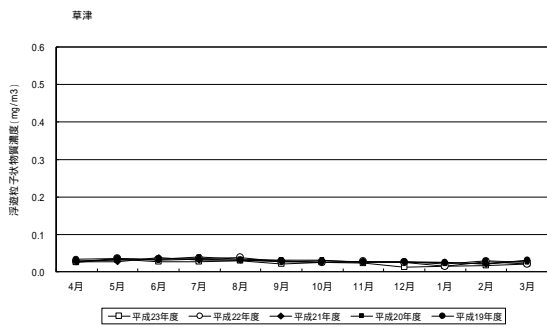
測定局	有効 測定 日数	測定 時間	年平 均値	1 時間値が 0.20 mg/m ³ を超えた時 間数とその 割合		日平均値が 0.10 mg/m ³ を超えた日 数とその割 合		1 時間 値の 最高値	日平均 値の 2% 除外値	日平均値が 0.10 mg/m ³ を超えた日 が 2 日以上 連続したこ との有無	環境基準の長 期的評価によ る日平均値 0.10 mg/m ³ を超えた日数
				時間	%	日	%				
草津局 （一般局）	364	8686	0.023	0	0.0	2	0.5	0.173	0.053	×	2
自排草津局 （自排局）	364	8688	0.024	0	0.0	2	0.5	0.196	0.050	×	2
上田上局 （自排局）	363	8715	0.021	0	0.0	1	0.3	0.187	0.047	○	0

注) 草津局と自排草津局は平成 22 年度、上田上局は平成 23 年度の測定結果
環境基準：「短期的評価」1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

「長期的評価」日平均の 2%除外値（年間にわたる日平均値につき高い方から 2%の範囲にあたるものを除外した日平均値の最高値）が 0.10mg/m³ を超えず、かつ年間を通じて、日平均値が 0.10mg/m³ を超える日が 2 日以上連続しない場合を適合とする。

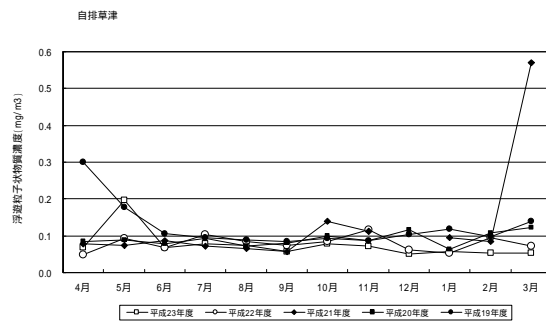
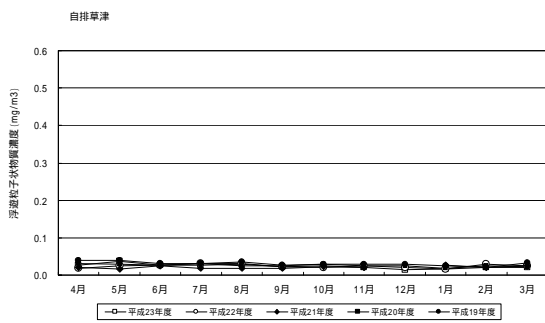
出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）
「常時監視測定局結果報告書 平成 24 年度」（大津市）

また、月平均値等の変化を図 4-1-7、図 4-1-8、図 4-1-9 に示す。



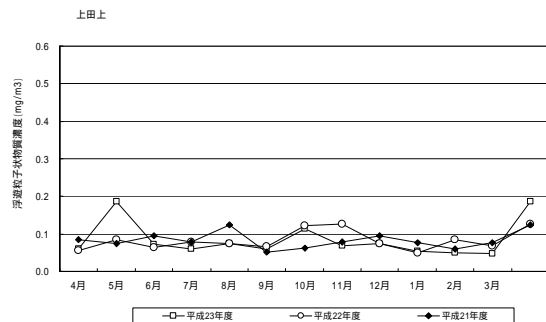
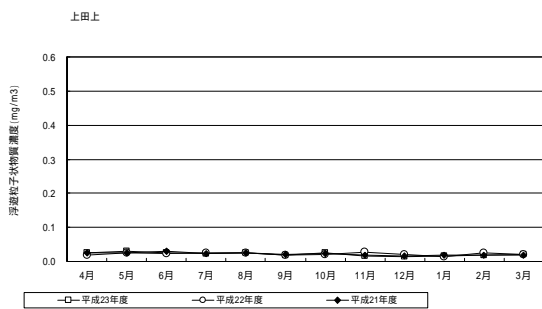
注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-7 浮遊粒子状物質の月別経年変化（草津局）



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-8 浮遊粒子状物質の月別経年変化（自排草津局）



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-9 浮遊粒子状物質の月別経年変化（上田上局）

(3) 光化学オキシダント

光化学オキシダントの年平均値の経年変化を表 4-1-9、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-10 に示す。

経年変化を見ると、各測定局とも近年は横ばい傾向である。

平成 23 年度の結果は、各測定局とも環境基準（昼間の 1 時間値が 0.06ppm 以下）を超えた日数は草津局で 81 日、自排草津局で 31 日発生したが、光化学オキシダント注意報の目安とされている昼間の 1 時間値が 0.12ppm を超えた日はなかった。

表 4-1-9 光化学オキシダントの経年変化（昼間の 1 時間値の年平均値）

（単位：ppm）

測定局 \ 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津局（一般局）	0.035	0.035	0.033	0.038	0.031
自排草津局（自排局）	0.027	0.028	0.030	0.031	0.024

注）昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

表 4-1-10 光化学オキシダントの年間測定結果（平成 23 年度）

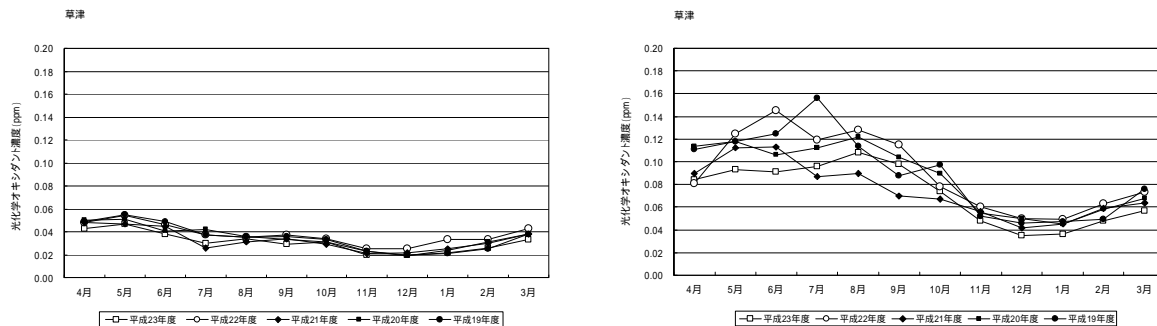
測定局	昼間 測定 日数	昼間 測定 時間	昼間の 1 時間値 の平均 値	昼間の 1 時間 値が 0.06ppm を超えた日 数と時間数		昼間の 1 時間 値が 0.12ppm 以上の日数 と時間数		昼間の 1 時間 値の最高値	昼間の日最高 1 時間値の平均 値
	日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm
草津局 （一般局）	366	5395	0.031	81	388	0	0	0.108	0.046
自排草津局 （自排局）	357	5264	0.024	31	117	0	0	0.087	0.039

環境基準：1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

環境基準との比較は昼間（5 時から 20 時）のデータをもって行い、1 時間値が 0.06ppm を超える時間数が 0 であること。昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。従って、1 時間値は 5 時から 20 時まで得られることになる。

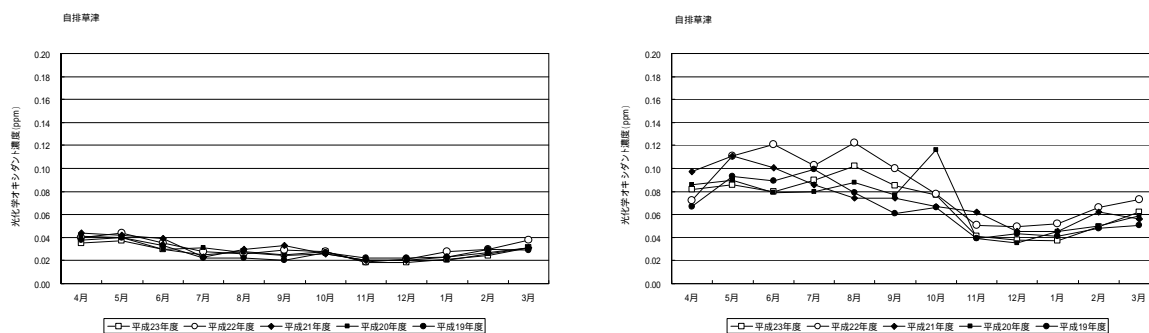
出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

また、月平均値等の変化を図 4-1-10、図 4-1-11 に示す。



注) 左：昼間の1時間値の月平均値、右：昼間の1時間値の最高値

図 4-1-10 光化学オキシダントの月別経年変化（草津局）



注) 左：昼間の1時間値の月平均値、右：昼間の1時間値の最高値

図 4-1-11 光化学オキシダントの月別経年変化（自排草津局）

(4) 窒素酸化物

ア) 二酸化窒素

二酸化窒素の年平均値の経年変化を表 4-1-11、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-12 に示す。

経年変化を見ると、各測定局とも近年は横ばい傾向である。近年の測定結果は、各測定局とも環境基準を満足していた。

表 4-1-11 二酸化窒素の経年変化（年平均値）

（単位：ppm）

測定局	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津局（一般局）		0.015	0.015	0.015	0.014	0.013
自排草津局（自排局）		0.030	0.027	0.025	0.026	0.020
上田上局（自排局）		—	—	0.019	0.019	0.019

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

表 4-1-12 二酸化窒素の年間測定結果（平成 23 年度）

測定局	有効 測定 日数	測定 時間	年平 均値	1 時間 値の 最高値	1 時間値が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の時間数と その割合		1 時間値が 0.2ppm を 超えた日数 とその割合		日平均値 が0.06ppm を超えた 日数とそ の割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の日数とそ の割合		日平 均値 の年 間 98%	98%値 評価によ る日平均 値が 0.06ppm を超えた 日数
					時間	%	時間	%	日	%	日	%		
草津局 （一般局）	364	8614	0.013	0.061	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.029	0
自排草津局 （自排局）	361	8634	0.020	0.053	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.034	0
上田上局 （自排局）	358	8592	0.019	0.095	0	0	2	0.0	0	0.0	5	1.4	0.038	0

注）草津局と自排草津局は平成 22 年度、上田上局は平成 23 年度の測定結果

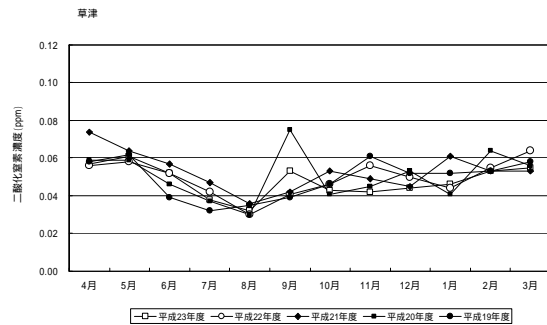
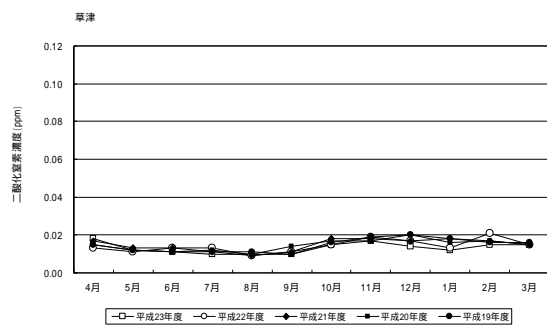
環境基準：1 時間の 1 日平均値が 0.04～0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

「98%値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数」とは、1 年間の日平均値のうち低いほうから 98% の範囲にあつて、かつ 0.06ppm を超えた日数である。

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

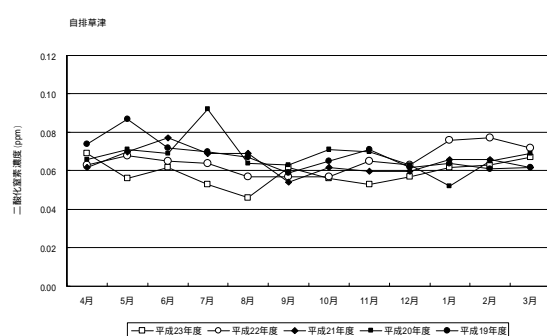
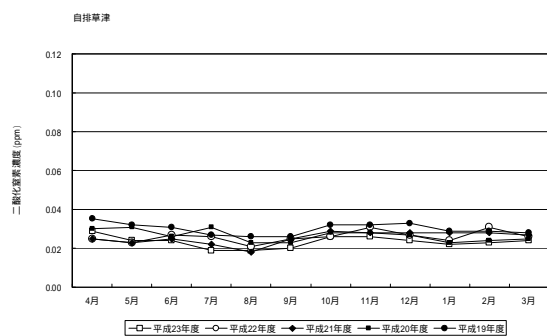
「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

また、月平均値等の変化を図 4-1-12、図 4-1-13、図 4-1-14 に示す。



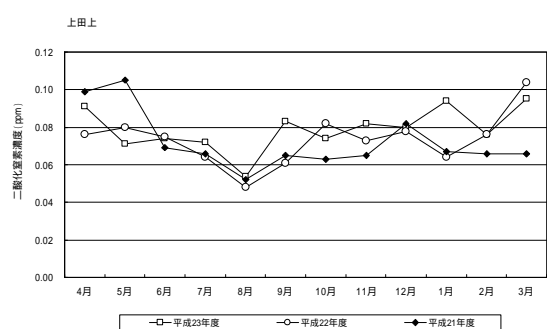
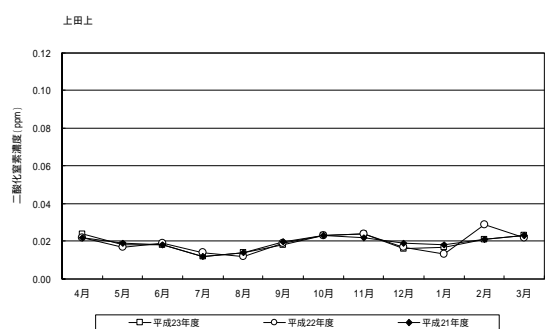
注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-12 二酸化窒素の月別経年変化（草津局）



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-13 二酸化窒素の月別経年変化（自排草津局）



注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-14 二酸化窒素の月別経年変化（上田上局）

イ) 一酸化窒素および窒素酸化物

一酸化窒素および窒素酸化物の年平均値の経年変化を表 4-1-13、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-14 に示す。

経年変化を見ると、各測定局とも近年は減少傾向である。

表 4-1-13 窒素酸化物の経年変化（年平均値）

(単位：ppm)

測定局	年度	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NO+NO ₂)				
		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津局 (一般局)		0.010	0.009	0.007	0.007	0.007	0.025	0.024	0.022	0.021	0.020
自排草津局 (自排局)		0.057	0.053	0.043	0.041	0.029	0.087	0.080	0.069	0.067	0.049
上田上局 (自排局)		-	0.017	0.016	0.016	0.017	-	0.037	0.036	0.035	0.036

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

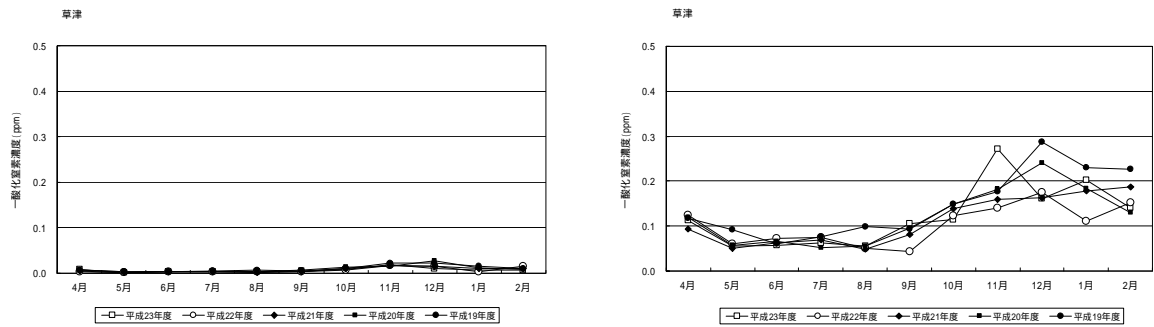
表 4-1-14 窒素酸化物の年間測定結果（平成 23 年度）

測定局	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NO+NO ₂)					
	有効 測定 日数	測定 時間	年平 均値	1 時間 の 最高値	日平均 値の 98%値	有効測 定日数	測定 時間	年平 均値	1 時間 値の 最高値	日平均 値の 98%値	年平均 値の NO ₂ /(NO +NO ₂)
	日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
草津局 (一般局)	363	8614	0.007	0.272	0.046	363	8614	0.020	0.307	0.074	65.8
自排草津局 (自排局)	361	8634	0.029	0.216	0.080	361	8634	0.049	0.251	0.109	40.9
上田上局 (自排局)	363	8674	0.017	0.310	0.056	358	8590	0.036	0.404	0.093	52.6

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

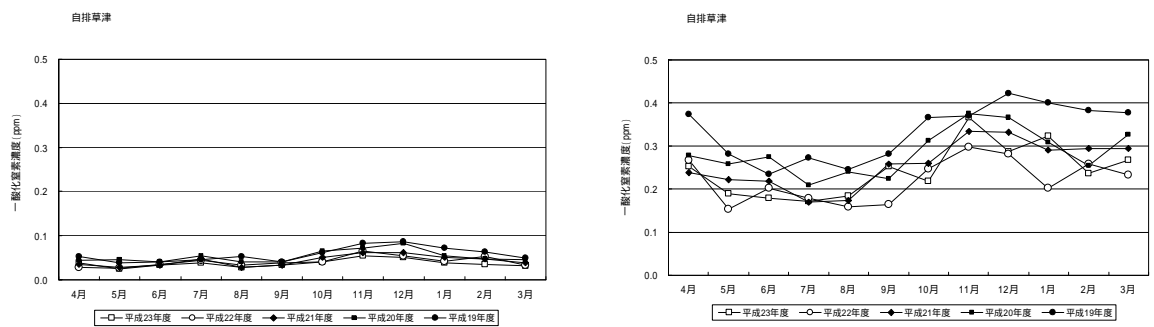
「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

また、一酸化窒素の月平均値等の変化を図 4-1-15、図 4-1-16、図 4-1-17、窒素酸化物の月平均値等の変化を図 4-1-18、図 4-1-19、図 4-1-20 に示す。



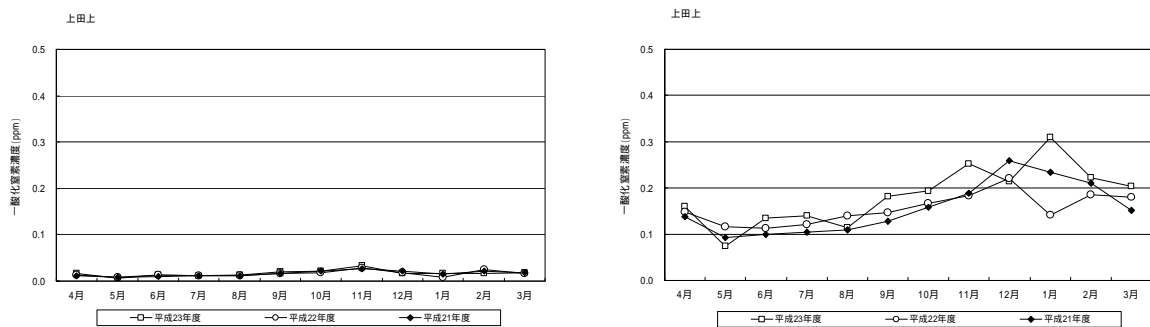
注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-15 一酸化窒素の月別経年変化（草津局）



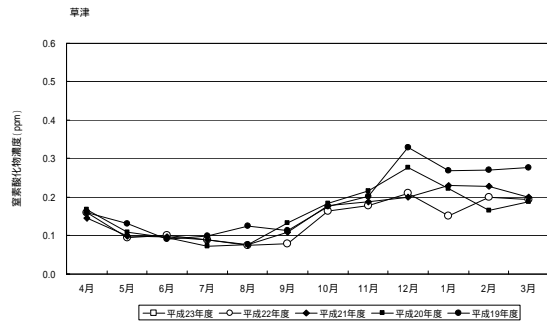
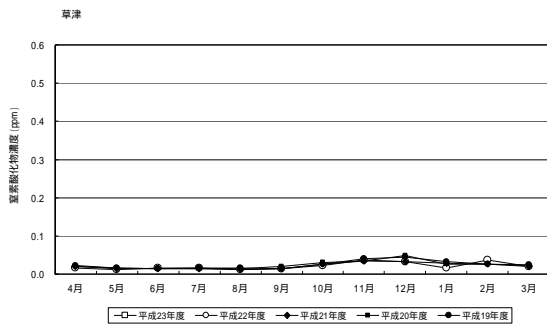
注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-16 一酸化窒素の月別経年変化（自排草津局）



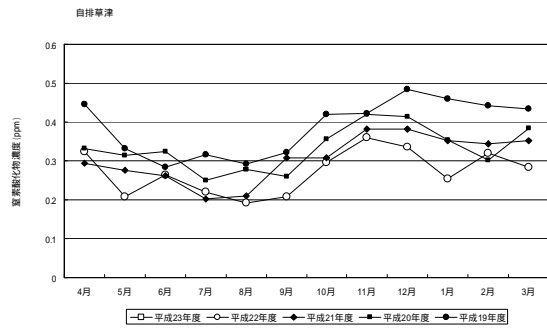
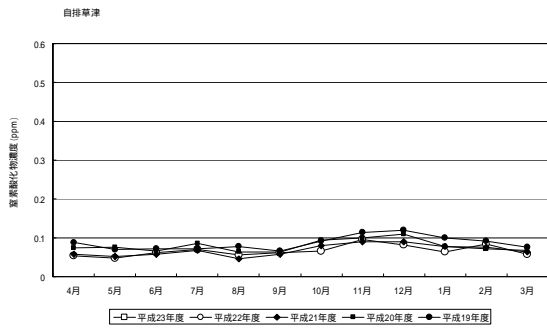
注) 左：月平均値、右：1時間値の最高値

図 4-1-17 一酸化窒素の月別経年変化（上田上局）



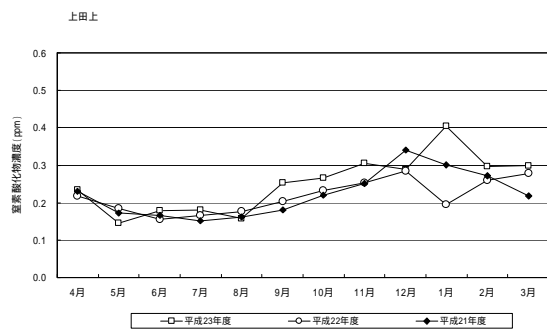
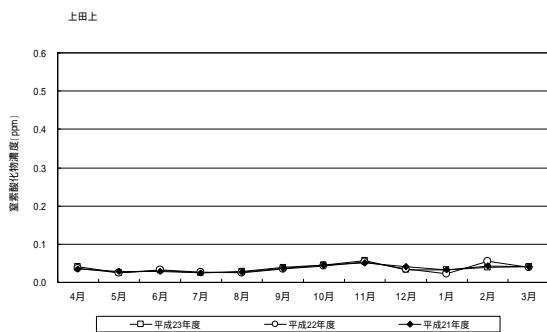
注) 左：月平均值、右：1時間値の最高値

図 4-1-18 窒素酸化物 (NO+NO₂) の月別経年変化 (草津局)



注) 左：月平均值、右：1時間値の最高値

図 4-1-19 窒素酸化物 (NO+NO₂) の月別経年変化 (自排草津局)



注) 左：月平均值、右：1時間値の最高値

図 4-1-20 窒素酸化物 (NO+NO₂) の月別経年変化 (上田上局)

(5) 一酸化炭素

一酸化炭素の年平均値の経年変化を表 4-1-15、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-16 に示す。

経年変化を見ると、近年は横ばい傾向であり、各測定局とも環境基準を満足していた。

また、月平均値等の変化は図 4-1-21、図 4-1-22 に示すとおりである。

表 4-1-15 一酸化炭素の経年変化（年平均値）

(単位：ppm)

測定局	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
自排草津局（自排局）		0.7	0.6	0.7	0.7	0.7
上田上局（自排局）		-	0.4	0.4	0.4	0.3

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）

表 4-1-16 一酸化炭素の年間測定結果（平成 23 年度）

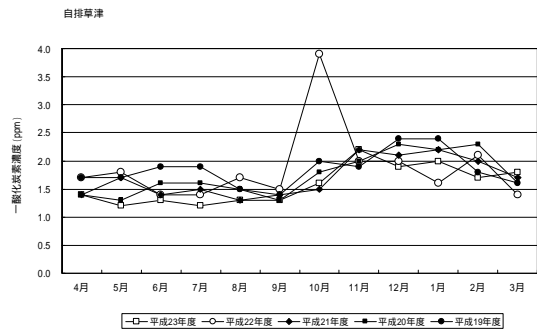
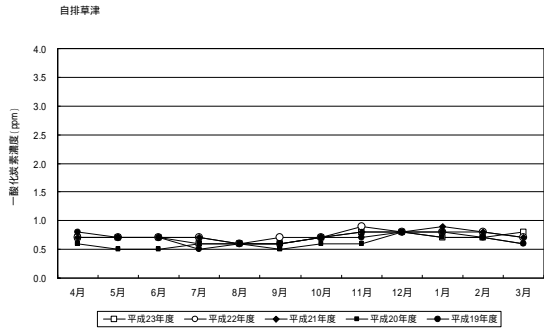
測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値の最高値	8 時間値が 20ppm を超えた回数とその割合		日平均値が 10ppm を超えた日数とその割合		1 時間値が 30ppm 以上となった日数とその割合		日平均値の 2% 除外値	日平均値が 10ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準値の長期的評価による日平均値が 10ppm を超えた日数
					回	%	日	%	日	%			
自排草津局（自排局）	361	8646	0.7	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.0	○	0
上田上局（自排局）	364	8706	0.3	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.6	○	0

環境基準：「短期的評価」1 時間値の日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。

「長期的評価」日平均の 2%除外値（年間にわたる日平均値につき高い方から 2%の範囲にあたるものを除外した日平均値の最高値）が 10ppm を超えず、かつ年間を通じて、日平均値が 10ppm を超える日が 2 日以上連続しない場合を適合とする。

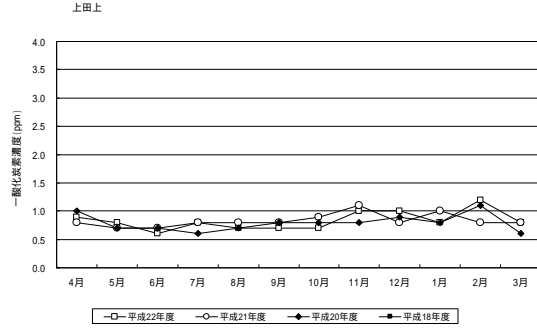
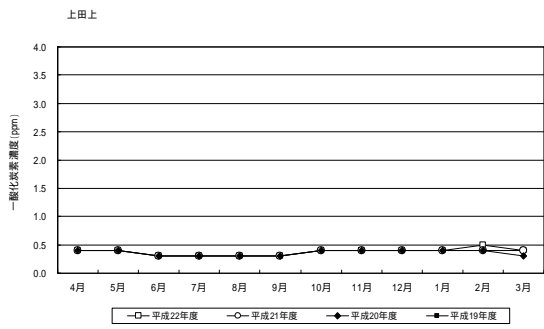
出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

「常時監視測定局報告書 平成 24 年度」（大津市）



注) 左：月平均值、右：1時間値の最高値

図 4-1-21 一酸化炭素の月別経年変化（自排草津局）



注) 左：月平均值、右：1時間値の最高値

図 4-1-22 一酸化炭素の月別経年変化（上田上局）

(6) 炭化水素（非メタン炭化水素）

非メタン炭化水素の年平均値の経年変化を表 4-1-17、平成 23 年度の測定結果を表 4-1-18 に示す。

経年変化を見ると、近年は概ね減少傾向である。

「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針」（昭和 51 年 8 月、環境省通知）では、午前 6 時～9 時までの非メタン炭化水素の 3 時間平均値を 0.20～0.31ppmC の範囲としている。平成 22 年度の年間測定結果では 3 時間平均値が 0.31ppmC を超えていた日が 62 日ありこの指針値を満足していない。

月平均値等の変化を図 4-1-23 に示す。

表 4-1-17 非メタン炭化水素の経年変化（6～9 時 3 時間平均値）

（単位：ppmC）

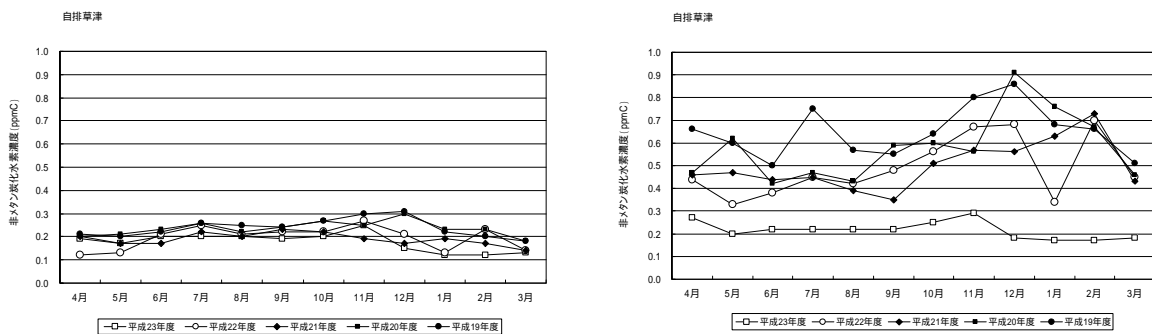
測定局	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
自排草津局（自排局）		0.30	0.28	0.22	0.24	0.22

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）

表 4-1-18 非メタン炭化水素の年間測定結果（平成 23 年度）

測定局	測定時間	年平均値	6 時～9 時における年平均値	6 時～9 時の測定日数	6 時～9 時の 3 時間平均値		6 時～9 時の 3 時間平均値が 0.20ppmC を超えた日数とその割合		6 時～9 時 3 時間平均値が 0.31ppmC を超えた日数とその割合	
					最高値	最低値	日	%	日	%
	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	日	%	日	%
自排草津局（自排局）	8207	0.18	0.22	360	0.86	0.02	172	47.8	62	17.2

出典：「滋賀の環境 2012（平成 24 年版環境白書）」（滋賀県）



注) 左：月平均値、右：1 時間値の最高値

図 4-1-23 炭化水素（非メタン炭化水素）の月別経年変化（自排草津局）

(7) ダイオキシン類

ダイオキシン類の年平均値の経年変化を表 4-1-19 に示す。

各年の値は、環境基準を満足している。

表 4-1-19 ダイオキシン類の経年変化(年平均値)

(単位：pg-TEQ/m³)

調査地点	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
草津 (湖南農業高校敷地内)	0.028	0.025	0.019	0.040	0.028

環境基準：年平均値が 0.6pg-TEQ/m³以下であること。

注1) ダイオキシン類は、PCDD(ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン)、PCDF(ポリ塩化ジベンゾフラン)およびコプラナーPCB(コプラナーポリ塩化ビフェニル)の合計値を指す。

注2) 「pg-TEQ」は一兆分の 1g(10⁻¹²g)のダイオキシン類の毒性等量

出典：「滋賀の環境 2012 (平成 24 年版環境白書)」(滋賀県)

3) 騒音・振動の状況

(1) 騒音の状況

事業予定地周辺では、平成4年度に騒音の調査を実施している。その調査地点を図4-1-24、調査結果を表4-1-20、表4-1-21に示す。調査地点②と④は要請限度より低い値であったが環境基準よりも高かった。その他の調査地点については、環境基準および要請限度より低い値であった。

また、平成20年度の道路交通騒音調査結果を表4-1-22に示す。環境基準および要請限度を満足していた。

表 4-1-20 環境騒音測定結果（平成4年度）

調査地点	測定場所	時間区分	測定日時	騒音レベル[dB(A)]				環境基準(Leq)	【参考】要請限度(Leq)		
				L ₅	L ₅₀	L ₉₅	Leq				
①	馬場町	朝	8/28(金)	6:00	51	45	43	50	65(○)	75(○)	
				7:25	46	44	43	44	65(○)	75(○)	
				昼間	10:20	48	44	42	45	65(○)	75(○)
					14:25	53	46	44	48	65(○)	75(○)
				夕	18:20	58	50	46	52	65(○)	75(○)
					19:05	50	45	44	47	65(○)	75(○)
		夜間	22:00	49	47	45	47	60(○)	70(○)		
			0:00	49	47	46	47	60(○)	70(○)		
		朝	8/29(土)	6:00	47	44	42	46	65(○)	75(○)	
				7:25	48	45	44	48	65(○)	75(○)	
				昼間	10:20	45	43	41	43	65(○)	75(○)
					14:25	57	45	43	51	65(○)	75(○)
				夕	18:20	50	47	46	48	65(○)	75(○)
					19:05	49	43	42	45	65(○)	75(○)
夜間	22:00	46	45	44	45	60(○)	70(○)				
	0:00	46	45	44	45	60(○)	70(○)				
②	若草公園	朝	8/28(金)	6:00	59	45	44	53	60(○)	70(○)	
				7:30	68	58	45	63	60(×)	70(○)	
				昼間	10:20	67	53	47	61	60(×)	70(○)
					14:30	66	51	48	58	60(○)	70(○)
				夕	18:20	66	55	47	61	60(×)	70(○)
					19:00	72	56	48	64	60(×)	70(○)
		夜間	22:00	65	45	42	57	55(×)	65(○)		
			0:00	63	44	42	58	55(×)	65(○)		
		朝	8/29(土)	6:00	63	46	44	55	60(○)	70(○)	
				7:30	65	48	44	59	60(○)	70(○)	
				昼間	10:20	67	52	48	59	60(○)	70(○)
					14:30	66	52	51	59	60(○)	70(○)
				夕	18:20	68	52	46	61	60(×)	70(○)
					19:00	65	51	47	59	60(○)	70(○)
夜間	22:00	63	47	42	58	55(×)	65(○)				
	0:00	64	45	43	59	55(×)	65(○)				

注) 表中の地点番号は図4-1-24に対応している。

環境基準の値は「環境基本法」(平成5年法律第91号)に基づき、時間区分は「公害対策基本法」(昭和42年法律第132号)に基づく。

環境基準と要請限度において、○は基準値以下、×は基準値より上を示す。

出典:「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」(平成5年1月、草津市)

表 4-1-21 道路交通騒音測定結果（平成 4 年度）

調査地点	測定場所	測定日	時間区分	騒音レベル[dB(A)]				環境基準 (Leq)	【参考】 要請 限度 (Leq)
				L ₅	L ₅₀	L ₉₅	Leq		
③	馬場町	8/28 (金)	朝	59	42	39	57	65(○)	75(○)
			昼間	69	53	47	64	65(○)	75(○)
			夕	69	52	46	61	65(○)	75(○)
			全体	69	52	46	63		
		8/29 (土)	朝	59	42	39	57	65(○)	75(○)
			昼間	65	47	42	61	65(○)	75(○)
			夕	63	45	42	58	65(○)	75(○)
			全体	64	47	42	60		
④	若草	8/28 (金)	朝	74	65	50	70	60(×)	70(○)
			昼間	73	59	46	68	60(×)	70(○)
			夕	74	58	47	66	60(×)	70(○)
			全体	74	59	46	68		
		8/29 (土)	朝	66	47	36	63	60(×)	70(○)
			昼間	72	56	45	66	60(×)	70(○)
			夕	72	64	58	67	60(×)	70(○)
			全体	72	56	45	66		

注) 表中の地点番号は図 4-1-24 に対応している。

環境基準の値は「環境基本法」(平成 5 年法律第 91 号)に基づき、時間区分は「公害対策基本法」(昭和 42 年法律第 132 号)に基づく。

環境基準と要請限度において、○は基準値以下、×は基準値より上を示す。

出典:「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」(平成 5 年 1 月、草津市)

表 4-1-22 道路交通騒音調査結果（平成 20 年度）

調査地点	測定場所	測定時間	時間区分	騒音レベル[dB(A)]	環境基準 (Leq)	【参考】 要請 限度 (Leq)
				Leq		
⑤	追分町 1003	6時から翌6時	昼間	70	70(○)	75(○)
			夜間	63	65(○)	70(○)

注) 表中の地点番号は図 4-1-24 に対応している。





環境基準は「環境基本法」(平成 5 年法律第 91 号)、要請限度は「騒音規制法」(昭和 43 年法律第 98 号)に基づく。

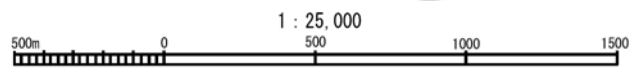
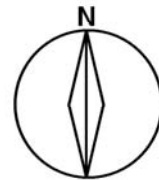
環境基準と要請限度において、○は基準値以下、×は基準値より上を示す。

出展:「くさつの環境 平成 23 年度版」(草津市)



凡例

-  : 事業予定地
-  : 市界
- ①, ② : 環境騒音 (平成 4 年度)
- ③, ④ : 道路交通騒音 (平成 4 年度)
- ⑤ : 道路交通騒音 (平成 20 年度)
-  : 高速道路
-  : 主要県道



出典：「くさつの環境 平成 23 年度版」(草津市)、
「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」(平成 5 年 1 月、草津市)

図 4-1-24 騒音調査地点位置

(2) 振動の状況

事業予定地周辺では、平成4年度に振動の調査を実施している。その調査地点を図4-1-25、調査結果を表4-1-23、表4-1-24に示す。全地点において要請限度以下であった。

表 4-1-23 環境振動測定結果（平成4年度）

調査地点	測定場所	時間区分	測定日時		振動レベル[dB]			【参考】 要請 限度 (L ₁₀)	
					L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
①	馬場町	朝	8/28 (金)	6 : 00	<30	<30	<30	60(○)	
				7 : 25	<30	<30	<30	60(○)	
				昼間	10 : 20	<30	<30	<30	65(○)
					14 : 25	<30	<30	<30	65(○)
					夕	18 : 20	<30	<30	<30
				夜間	19 : 05	<30	<30	<30	60(○)
					22 : 00	<30	<30	<30	60(○)
		0 : 00	<30		<30	<30	60(○)		
		朝	8/29 (土)	朝	6 : 00	<30	<30	<30	60(○)
					7 : 25	<30	<30	<30	60(○)
				昼間	10 : 20	<30	<30	<30	65(○)
					14 : 25	<30	<30	<30	65(○)
					夕	18 : 20	<30	<30	<30
				夜間	19 : 05	<30	<30	<30	60(○)
22 : 00	<30				<30	<30	60(○)		
0 : 00	<30	<30	<30	60(○)					
②	若草公園	朝	8/28 (金)	6 : 00	30	<30	<30	60(○)	
				7 : 30	31	<30	<30	60(○)	
				昼間	10 : 20	35	34	33	65(○)
					14 : 30	33	<30	<30	65(○)
					夕	18 : 20	34	32	30
				夜間	19 : 00	<30	<30	<30	60(○)
					22 : 00	<30	<30	<30	60(○)
		0 : 00	<30		<30	<30	60(○)		
		朝	8/29 (土)	朝	6 : 00	<30	<30	<30	60(○)
					7 : 30	36	32	31	60(○)
				昼間	10 : 20	35	31	30	65(○)
					14 : 30	34	32	<30	65(○)
					夕	18 : 20	36	35	33
				夜間	19 : 00	31	<30	<30	60(○)
22 : 00	<30				<30	<30	60(○)		
0 : 00	<30	<30	<30	60(○)					

注) 表中の地点番号は図4-1-25に対応している。

時間区分は「公害対策基本法」(昭和42年法律第132号)に基づく。

要請限度において、○は基準値以下を示す。

出典：「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」(平成5年1月、草津市)

表 4-1-24 道路交通振動測定結果（平成 4 年度）

調査地点	測定場所	測定日	時間区分	振動レベル[dB]			【参考】 要請限度 (L ₁₀)
				L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
③	馬場町	8/28（金）	夜間	<30	<30	<30	65（○）
			昼間	42	35	31	70（○）
			全体	41	34	30	
		8/29（土）	夜間	<30	<30	<30	65（○）
			昼間	42	35	31	70（○）
			全体	38	<30	<30	
④	若草	8/28（金）	夜間	33	<30	<30	60（○）
			昼間	38	<30	<30	65（○）
			全体	37	<30	<30	
		8/29（土）	夜間	<30	<30	<30	60（○）
			昼間	34	<30	<30	65（○）
			全体	33	<30	<30	

注) 表中の地点番号は図 4-1-25 に対応している。

要請限度は「振動規制法」（昭和 51 年法律第 64 号）、時間区分は「公害対策基本法」（昭和 42 年法律第 132 号）に基づく。

要請限度において、○は基準値以下を示す。

出典：「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」（平成 5 年 1 月、草津市）



出典：「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」（平成5年1月、草津市）

図 4-1-25 振動調査地点位置

4) 悪臭

事業予定地周辺では、平成4年度に悪臭調査を実施している。その調査地点を図4-1-26、調査結果を表4-1-25に示す。アンモニアを除く全ての項目で検出限界以下であった。

なお、草津市では、平成15年8月より、悪臭防止法による規制方式が「物質濃度規制」から「臭気指数規制」へと変更されている。

表 4-1-25 悪臭調査結果（平成4年度）


調査地点 物質	①（周辺地） 馬場町	②（周辺地） 若草	③（敷地境界）	【参考】 悪臭防止法に基づく 規制基準
アンモニア	0.1ppm 未満	0.13ppm（最大）	0.18ppm（最大）	1ppm（○）
硫化水素	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.02ppm（○）
メチルメルカプタン	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.002ppm（○）
硫化メチル	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.01ppm（○）
二硫化メチル	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.009ppm（○）
トリメチルアミン	0.006ppm 未満	0.006ppm 未満	0.006ppm 未満	0.005ppm（－）
アセトアルデヒド	0.03ppm 未満	0.03ppm 未満	0.03ppm 未満	0.05ppm（○）
スチレン	0.1ppm 未満	0.1ppm 未満	0.1ppm 未満	0.4ppm（○）
プロピオン酸	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.03ppm（○）
ノルマル酪酸	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm（○）
ノルマル吉草酸	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.001ppm 未満	0.0009ppm（－）
イソ吉草酸	0.0009ppm 未満	0.0009ppm 未満	0.0009ppm 未満	0.001ppm（○）
臭気濃度	10 未満	10 未満	10 未満	

注）規制基準は県内で採用されている特定悪臭物質による規制基準で、敷地境界線での値（最大）は観測期間中の最大値

規制基準において、○は基準以下、－は定量下限値以下の値のため、評価不能
 出典：「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」（平成5年1月、草津市）

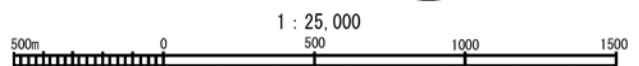
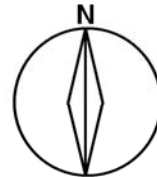


凡 例

 : 事業予定地

----- : 市界

①~③ : 悪臭調査



出典：「草津市立クリーンセンター環境影響評価報告書」（平成5年1月、草津市）

図 4-1-26 悪臭調査位置

5) 温室効果ガス

滋賀県における温室効果ガス排出量推定値の推移を表 4-1-26 に示す。平成 22 年度の温室効果ガス排出量は 11,566 千トンであり、平成 2 年度と比べ約 14%の減少となっている。

また、平成 22 年度の二酸化炭素量は 11,036 千トンであり、平成 2 年度と比べ約 15%の減少となっている。

表 4-1-26 滋賀県における温室効果ガスの排出量の推移

(単位：千 t CO₂)

項目	年度 (平成)	1990 (H2)	1995 (H7)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	増減率 (%)			
										構成比 (%)	1990 年比	1995 年比	2007 年比
エネルギー 転換部門		0	0	1	0	1	1	1	1	0	-	100.0%	
産業部門		6,564	6,692	5,740	5,722	6,078	5,612	4,909	4,873	42	74%	73%	85%
運輸部門		2,897	3,413	2,860	2,740	2,821	2,770	2,662	2,538	22	88%	74%	89%
民生部門		2,341	2,840	3,372	3,124	3,287	3,147	2,696	3,344	29	143%	118%	99%
工業プロセス		1,149	1,106	1	1	1	1	0	1	0	0%	0%	100%
廃棄物		101	189	284	279	283	279	274	279	2	276%	148%	98%
二酸化炭素計		13,053	14,240	12,258	11,866	12,471	11,810	10,542	11,036	95	85%	78%	90%
メタン		210	230	210	210	200	200	200	200	2	95%	87%	95%
一酸化二窒素		110	120	110	110	110	90	90	90	2	82%	75%	82%
代替フロン	HFC	30	30	60	60	120	140	160	170	1	567%	567%	283%
	PFC	0	0	120	100	120	60	30	30	0	-	-	25%
	SF6	30	30	40	40	50	40	30	40	0	133%	133%	100%
計		13,433	14,650	12,798	12,386	13,071	12,340	11,052	11,566	100	86%	79%	90%

注) 四捨五入のため合計が整合しない場合がある

出典：「滋賀県における温室効果ガス排出実態について」(滋賀県ホームページ)

4 - 1 - 2 水環境

1) 河川の状況

(1) 周辺の河川の状況

事業予定地周辺の河川を図 4-1-27 に示す。事業予定地周辺には、東側に草津川、西側に伯母川が流れている。

事業予定地流域の草津川は、その源を大津市桐生町地先オランダ堰堤上流に発し、名神高速道路・東海道新幹線・国道1号・東海道本線の主要施設を交差し、琵琶湖に至る。

山地の大部分が花崗岩質となっており、土砂生産量が多く、国道や東海道本線の上を流れる天井川となっている。

(2) 事業予定地周辺の流域区分の状況

事業予定地およびその周辺の雨水排水経路を図 4-1-28 に示す。既存施設の敷地からの雨水排水は現況と同様に既存工業団地内の調整池を経て伯母川に放流されている。一方、事業予定地（現在の公園グラウンドおよび駐車場）の雨水排水は現況と同様にすべて草津川へ放流される。

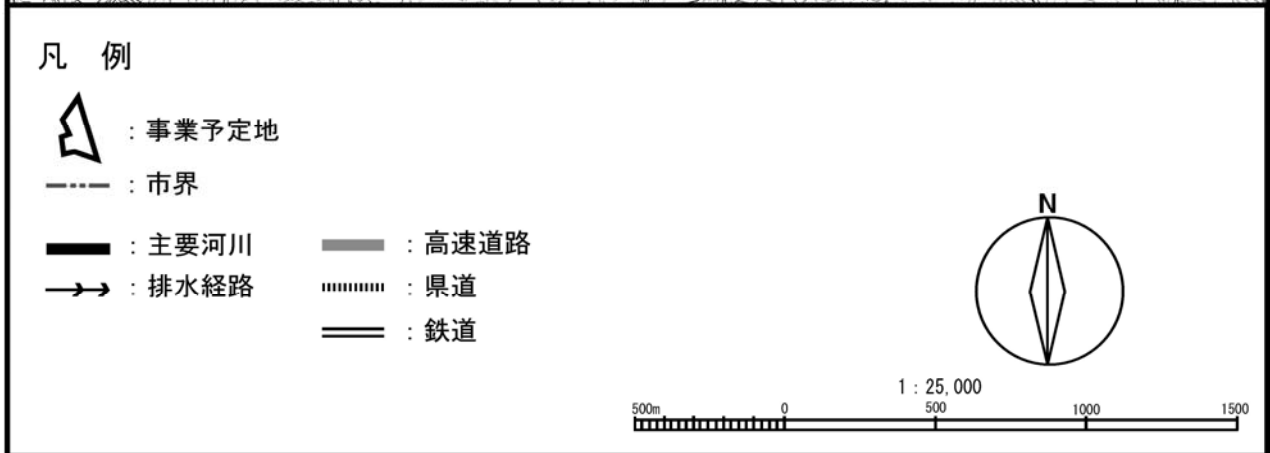
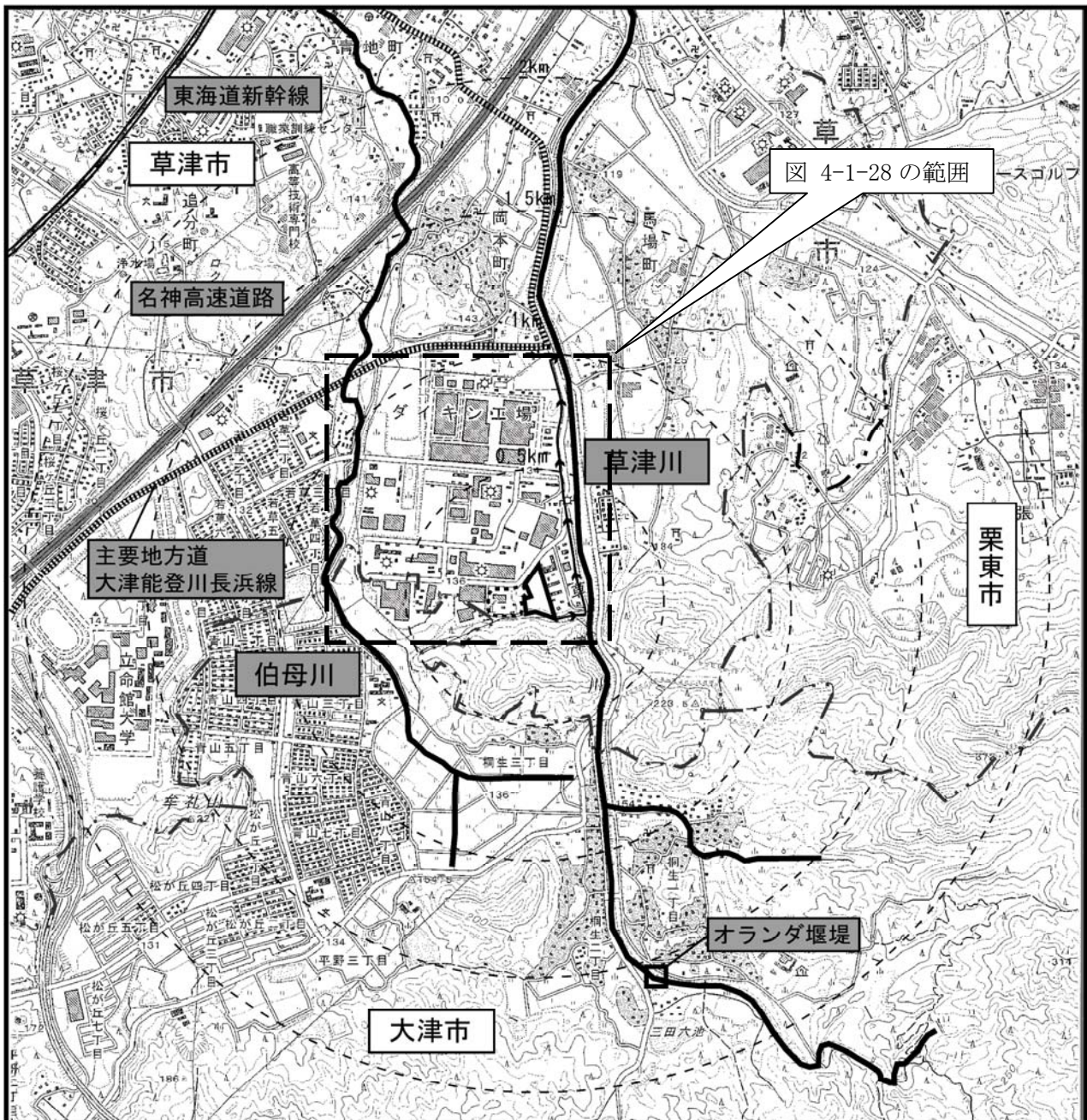


図 4-1-27 事業予定地周辺の主要河川

調整池流域図

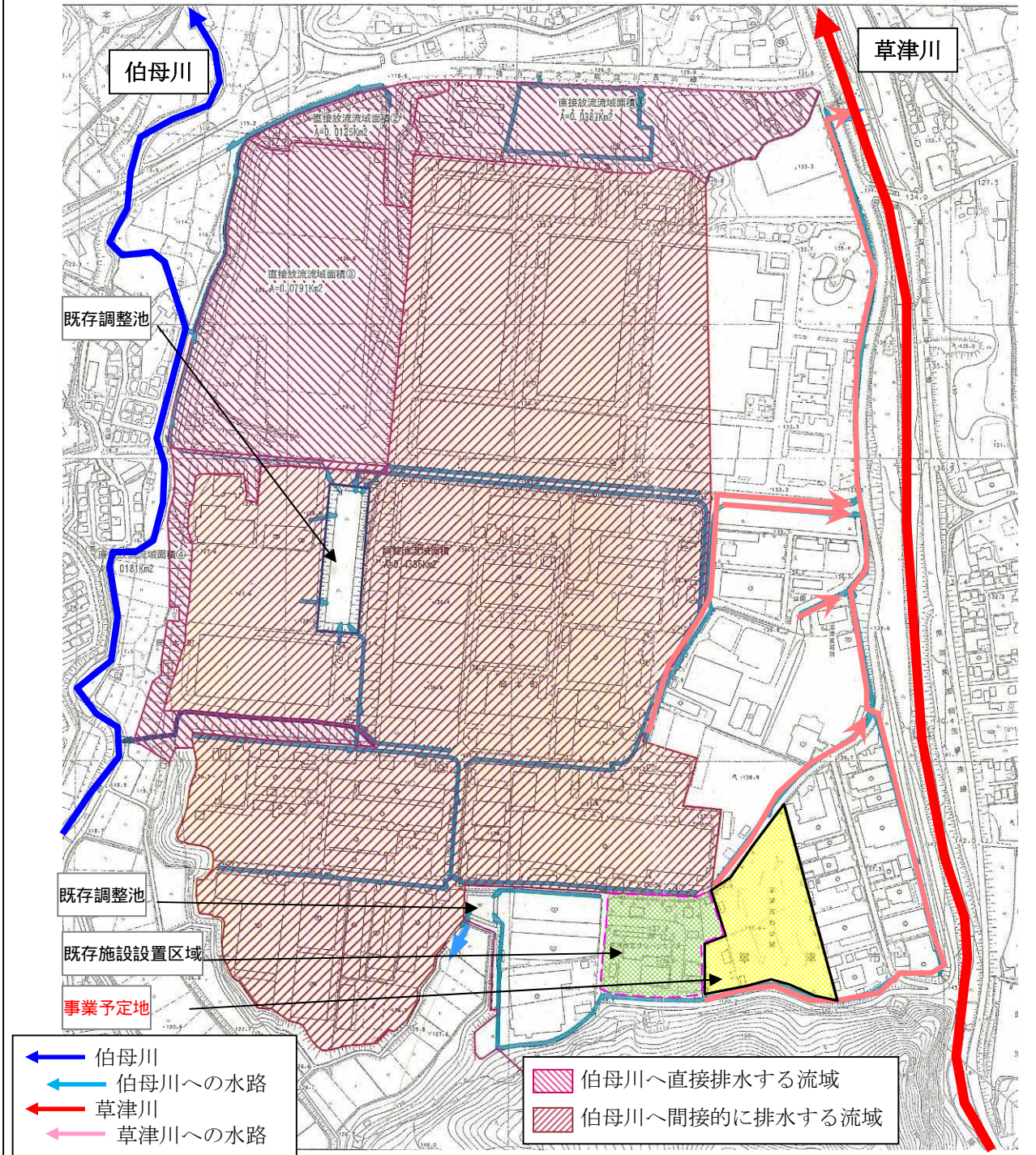


図 4-1-28 事業予定地周辺の排水系統

2) 水質の状況

草津市内における類型指定状況は葉山川と十禅寺川がA類型に指定されているが、事業予定地周辺を流れる草津川および伯母川は類型指定されていない。

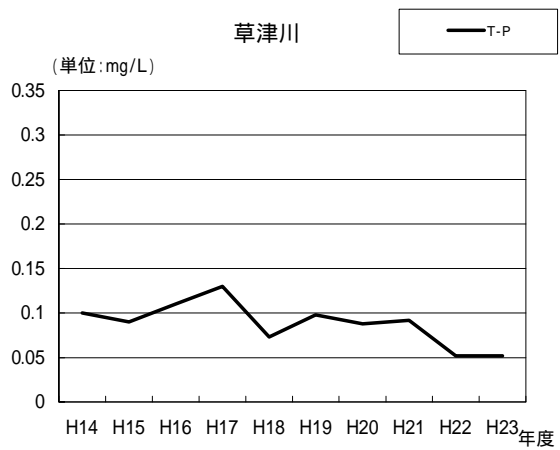
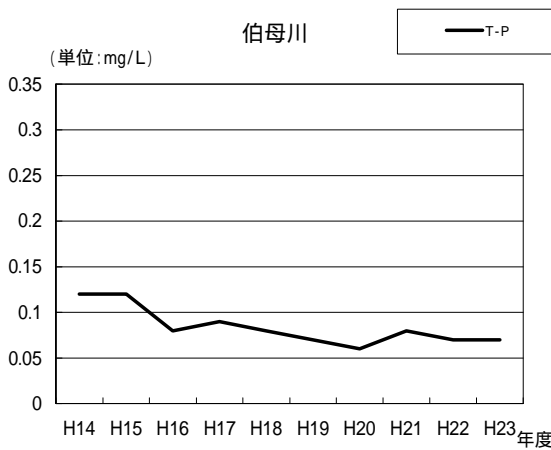
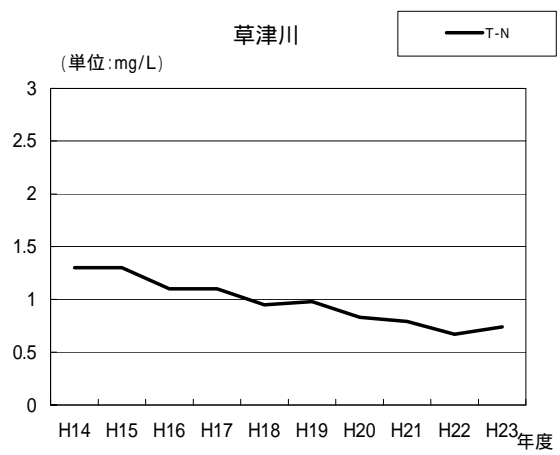
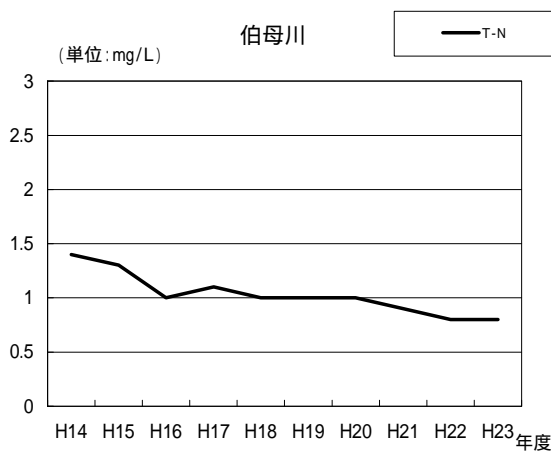
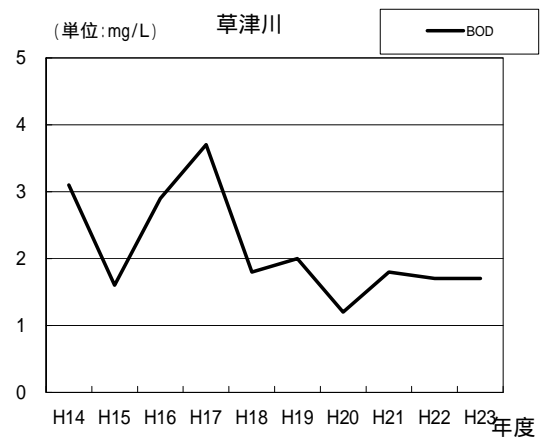
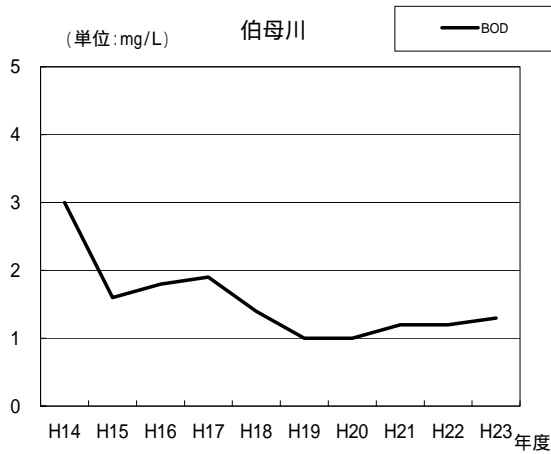
また、草津市では「草津市の良好な環境保全条例」に基づき、市独自の「河川の水質に係る環境管理基準」を定め、狼川、伊佐々川をB類型にあてはめている。

さらに、伯母川、郡上・山寺川、北川、草津川、柳川が監視必要河川として、調査を実施している。

事業予定地周辺を流れる伯母川と草津川における測定結果を図 4-1-29、表 4-1-27(1)～(3)、調査地点位置を図 4-1-30 に示す。

平成 23 年度の水質調査結果によると、生物化学的酸素要求量 (BOD)、全窒素 (T-N)、および全リン (T-P) について、概ね減少傾向にあり、平成 22 年度以降はすべて市の環境管理基準の B 類型の基準を下回った。

また、平成 21 年度の健康項目については、環境基準値を満足している。



注) 草津川、伯母川には滋賀県の類型指定、草津市の環境管理基準は指定されていない

出典：「市内河川水質調査結果」（草津市）

図 4-1-29 事業予定地周辺河川の近年 10 力年の水質の推移（年間平均値）

表 4-1-27 (1) 平成 22 年度水質調査結果 (伯母川)

河川名		伯母川												
項目・単位														
採取月日		4/20	5/6	6/3	7/9	8/5	9/1	10/8	11/5	12/2	1/5	2/2	3/11	平均
採水時間		8:45	13:32	8:50	11:15	11:05	15:40	11:25	11:01	8:55	13:15	12:26	11:55	
天候		雲後雨	晴	晴	曇	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	
気温(°C)		13.2	26.5	25.2	26	31.2	33.5	21.2	15.3	9.2	9.2	8.5	5.7	
水温(°C)		13.5	21	19.1	22.8	26.8	29.2	20.5	14.1	10.5	7.2	7.9	8.3	
流量(m ³ /s)		0.13	0.17	0.1	0.19	0.11	0.17	0.1	0.17	0.04	0.06	0.04	0.11	0.12
透視度(度)		>100	30	49	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	90
生活環境項目	pH	7.6	7.8	7.7	7.6	7.8	7.6	7.9	7.7	7.5	8	8	7.7	7.7
	DO (mg/L)	11	10	9.5	8.5	9.9	7.7	9.9	10	11	15	14	11	10.6
	BOD (mg/L)	1.6	1.7	1.4	1.3	1.3	1.3	0.8	0.7	0.7	1.1	1.4	0.9	1.2
	COD (mg/L)	2.7	4.4	5	3.6	3.9	4.3	2.3	1.8	2.9	2.9	2.3	2.6	3.2
	SS (mg/L)	1	22	15	10	1	4	2	<1	<1	<1	3	<1	5
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	1.70E+03	3.30E+03	5.40E+03	2.40E+04	1.70E+04	2.80E+04	7.90E+03	7.90E+03	9.20E+03	3.30E+02	2.20E+02	1.70E+03	8.90E+03
	全窒素 (mg/L)	0.82	0.66	0.71	0.88	0.59	0.59	0.85	0.94	0.88	0.9	1	1	0.82
	全りん (mg/L)	0.044	0.11	0.13	0.07	0.087	0.094	0.068	0.055	0.046	0.052	0.053	0.048	0.071

表 4-1-27 (2) 平成 22 年度水質調査結果 (草津川)

河川名		草津川						
項目・単位								
採取月日		4/20	6/3	8/5	10/8	12/2	2/2	平均
採水時間		13:18	13:11	12:35	10:34	9:56	13:32	
天候		曇後雨	晴	曇	晴	晴	晴	
気温(°C)		14.2	26.5	35.1	20.9	9.9	7.2	
水温(°C)		15.3	25.3	29.8	20.5	10.9	5.8	
流量(m ³ /s)		1.73	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
透視度(度)		32	32	43	>100	59	>100	61
生活環境項目	pH	-	-	-	-	-	-	-
	DO (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-
	BOD (mg/L)	1.6	2.6	1.6	1.2	1	1.9	1.7
	COD (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-
	SS (mg/L)	-	-	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	-	-	-	-	-	-	-
	全窒素 (mg/L)	0.57	0.68	0.51	0.71	0.69	0.86	0.67
	全りん (mg/L)	0.055	0.095	0.082	0.045	0.042	0.04	0.06

表 4-1-27 (3) 平成 22 年度水質調査結果 (伯母川・草津川)

項目・単位	河川名	伯母川	草津川	【参考】 草津市の指定する 河川の水質に係る 環境管理基準
	採取月日		6/3	6/9
採水時間		8:50	13:11	—
天候		晴	晴	—
気温(℃)		25.2	26.5	—
水温(℃)		19.1	25.3	—
流量(m ³ /s)		0.1	<0.01	—
透視度(度)		49	32	—
健康項目	カドミウム(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 以下
	全シアン(mg/L)	不検出 (0.1 未満)	不検出 (0.1 未満)	検出されないこと
	鉛(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 以下
	六価クロム(mg/L)	<0.01	<0.01	0.05 以下
	砒素(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 以下
	総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
	アルキル水銀(mg/L)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
	PCB(mg/L)	不検出 (0.0005 未満)	不検出 (0.0005 未満)	検出されないこと
	ジクロロメタン(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
	1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002	0.1 以下
	シス1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 以下
	1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.002	<0.002	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	トリクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002	0.03 以下
	テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
	チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
	シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 以下
	ベンゼン(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 以下
	セレン(mg/L)	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/L)	0.40	0.20	10 以下	
ふっ素(mg/L)	0.22	0.15	0.8 以下	
ほう素(mg/L)	0.04	0.04	1 以下	

出典：「くさつの環境 平成 23 年度版」(草津市)